

[テーマ1]

横浜の女(ヒト)

PHOTO YOKOHAMA参考サイト:<http://photoyokohama.com/event/entry-363/>



写真：三橋康弘 作品タイトル：相鉄線を待つ女(ヒト) 2016年

横浜に生きる女性の写真大募集！

横浜に根付いて生きている女性の写真を募集します。被写体となる女性は、お年寄りから赤ちゃんまで年齢は問いません。必ずしも横浜生まれでなくてもかまいませんが、単に横浜の風景をバックに撮影した作品ではなく、しっかりと横浜に根づいて生きている女性(住んでいる、働いている、通っている、など)を捉えた写真をおまちしています。女性に焦点を合わせることで「横浜らしさとは？」が浮かび上がってくる写真展にしたいと考えています。規定サイズA1以内に納まれば何枚出していいただいてもOKです。(組み写真にしていいただく必要はありません。)プロ・アマ問いませんので、お気軽にお問い合わせください。

プロ・アマ問いません！
どなたでもお気軽に
ご参加ください。

企画協力：写真家 三橋康弘

展示期間：2019年2月15日(金)～2月24日(日)

展示会場：gallery fu (横浜市中区石川町 1-31-9)

参加費：1 枠 /5000 円 (A1 の範囲内で何枚でも) 2 枠目からはプラス 4,000 円

持ち込み搬入：2019年2月9日(土) 12:00～16:00にお持ちください。

郵送搬入：2019年2月9日(土) 14:00～17:00 必着にてお送りください。

※展示はギャラリースタッフが行います。

展示場所についてはギャラリー側にご一任ください。

搬出：2019年2月24日(日) 18:00～(当日ご都合の悪い方は着払いにてご返送いたします。)

応募作品について

応募形態：作品はすべてプリント形式でご応募ください。

サイズ：最大A1サイズ(594mm×841mm)以内に収まる枚数とします。(写真は余黒(余白)なし。並べてA1の範囲内に収まれば1点でも数点でも可。)

出力ペーパー：半光沢ペーパー(厚手)にプリントアウトして提出(照明の反射を考慮)

※カラー、モノクロ可、写真は新作でなくて可。

[応募規定]

必ず被写体となる方に撮影および展示の許諾を得てください。被写体の肖像権(基本的人権)、著作権等侵害の責任は負いかねます。万一、第三者と紛争が生じた際は、応募者自身の責任と費用負担によって解決していただきます。応募者本人が撮影し、すべての著作権を有しているものに限り、他人の名前を使用した場合は無効になります。

[販売]

販売は可能ですが、その際も必ず被写体となる方の同意を得ている作品に限り、(販売手数料20%)

展示イメージ



写真提供：三橋康弘

作品展示方法と取り扱いについて

- 1) 作品展示は、作品の裏面に作品は、裏側にドラフティングテープで保護した上で粘着力の弱い両面テープでの壁貼りとなります。作品の裏面からドラフティングテープを剥がす際に裏面に若干傷がつく可能性がございます。
- 2) 展示する場所は、作品内容により gallery fu が構成させていただきます。複数点出展していただいた場合でも1か所にまとまって展示されるかどうかはわかりませんので、ご了承ください。
- 3) 作品の取扱いには十分注意いたしますが、万一の事故(紛失・破損など)に対する責任は負いかねますので、ご了承ください。

応募要項

参加費：テーマ1 参加 5000 円(税込)、テーマ2 参加 7000 円(税込) (各テーマ2 枠以上ご希望の方は2 枠目から1,000 円引き。)

※上記金額に含まれるもの(ギャラリー使用料/テーマ1,テーマ2 共通展覧会 DM20 枚/1 名)

※搬入・搬出にかかる費用は各自ご負担いただけます。※参加費はご返金できません。

応募受付期間(二次募集)：2019年1月20日(日)/DMにお名前を載せる場合の締め切り：2019年1月7日(月)

※定員に達し次第、募集を締め切らせていただきます。

申し込み方法：氏名(フリガナ)、住所、電話番号、メールアドレス、参加テーマ1,2のいずれかをお書きの上、

メール galleryfu@outlook.com までお申し込みください。参加費の振込先、詳細をご連絡させていただきます。



www.galleryfu.com

〒231-0868 横浜市中区石川町 1-31-9

phone:070-6429-8597

www.facebook.com/galleryfu

ご応募・お問い合わせテーマ1・テーマ2とも
galleryfu@outlook.com (右 QR コード)

お電話でのお問い合わせ(12:00-18:00 日曜日、月曜日を除く)

070-6429-8597



[テーマ2 モノクロ写真]

銀の粒に惚れ、ピクセルにときめく

ーフィルムとデジタルでモノクロ表現は変わるか?ー

PHOTO YOKOHAMA参考サイト <http://photoyokohama.com/event/entry-620/>



1999年頃に市場に出現したデジタルカメラは、2002年にフィルムカメラの出荷台数を上回ると急速に普及、フィルムカメラを一気に駆逐します。そして、2010年には1億2000万台を出荷しピークを迎えます。一見するとデジタル画像一色になったように思えますが、日頃、写真展に足を運ぶと、デジタル作品だけではなくフィルム作品も少なくはないことを実感します。そこで「デジタルカメラで作品を創るときと、フィルムカメラで作品を創るときとで、その表現が変わるのか?」という疑問です。本展は、一人の方がデジタルとフィルム、両方のモノクロ作品を展示することで、その表現の違いを考える実験的な公募展です。(プロ、アマ問いません。)

写真：生越文明 作品タイトル：時空のエロス 2018年8月 フィルム撮影

企画協力：写真家 生越文明

展示期間：2019年3月1日(金)～3月10日(日)

展示会場：gallery fu (横浜市中区石川町1-31-9)

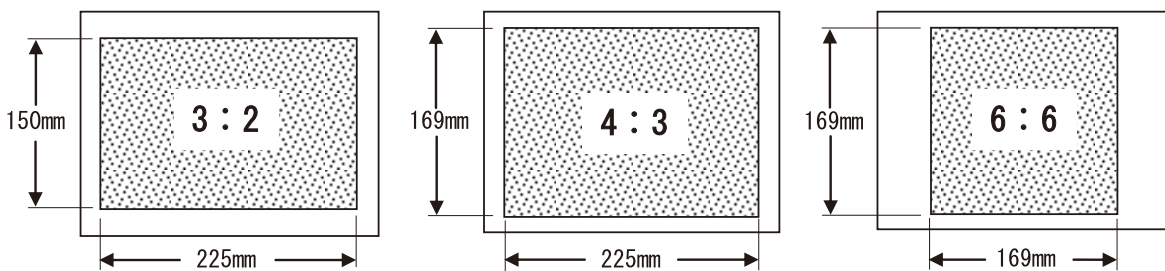
応募作品：フィルム作品1点 / デジタル作品1点の合計2点で1枠

参加費：1枠/7000円(ブックマット材料費及び組み立て工賃を含む)2枠目からはプラス5,000円

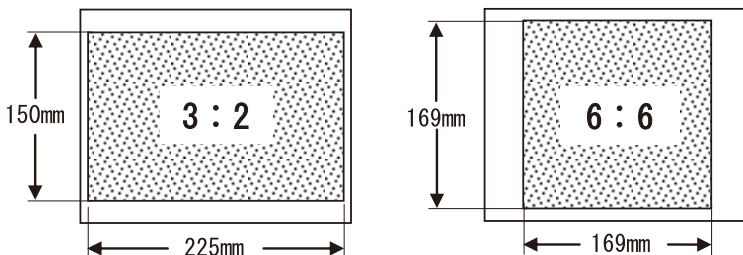
展示方法：12×15in.(305mm×380mm)ブックマットにて展示 展示終了後にブックマットごと返却します。

作品サイズ規定：下記の通りプリントをして**2月23日までに提出**してください。

デジタル作品の場合：A4写真用紙(210mm x 297mm)使用



フィルム作品の場合：六つ切RC印画紙(203mm x 253mm)使用



重要

写真展準備のため、下記情報を2月16日までに必ずご連絡ください。

- ・縦横の比率(3:2、4:3、6:6)
- ・構図の縦/横
- ・作品データ(200KB程度)

[オプション] 公募展の作品創りのための各種イベント^(*)も開催しますので、併せてご参加ください。

- 1) フィルムカメラ撮影会：1月12日(土) 10:00～17:00 場所 横浜市内 料金=2,000円+レンタルカメラ代^(**)
- 2) デジタルカメラ撮影会：1月19日(土) 10:00～17:00 場所 横浜市内 料金=2,000円
- 3) セレクト相談会：2月2日(土) 12:00～18:00 場所 未定 料金=1,000円
- 4) 暗室作業体験会：2月9日(土) 13:00～16:00 ザ・ダークルーム 料金=3,000円+設備使用料
- 5) デジタル・プリント会：2月16日(土) 13:00～16:00 カロタイプフォトワークス 料金=3,000円+設備使用料

(*) 詳細については、講師(写真家 生越文明)より、別途ご連絡致します。

(**) フィルムカメラをお持ちでない方は、(有)カメラのスズキよりレンタルも予定しています。

[応募規定]

被写体の肖像権(基本的人権)、著作権等侵害の責任は負いかねます。万一、第三者と紛争が生じた際は、応募者自身の責任と費用負担によって解決していただきます。応募者本人が撮影し、すべての著作権を有しているものに限ります。他人の名前を使用した場合は失格になります。